



東日本大震災にて被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

社会福祉法人 すこやか福祉会
株式会社 ファミリーケア
2011年5月1日 第17号
＜4月・7月・10月・1月 年4回発行＞

2011年度新卒介護職員 16名入社しました



私たちの事業・経営を取り巻く環境とその対応 そして めざすべきもの

＜社会福祉法人 すこやか福祉会 2011年度事業活動方針＞

	重要成功要因	成果目標
財務の視点	経常利益率の目標設定	経常利益率収益比 5%
	収入目標達成	全事業所・施設での設定目標達成
	人件費削減	人件費率 68% (法人全体)
	経費削減	職員一人あたり経費の目標設定
顧客の視点	利用者満足度の最大化	利用者満足度調査
	入居待機者確保と稼働率アップ	特養・GHでの把握と取り組み
	内部ケアマネの集中率アップ	減算にならない程度の目標設定
	外部ケアマネへの営業活動	依頼先の開拓と件数増
業務プロセスの視点	地区協議会への集中と情報交換	協議会内への情報公開の基準化
	地域団体への参加と情報収集	行政・地域情報の収集と参加
	ケア事故・交通事故の減少	減少目標達成度の設定
	職員定着・離職防止対策	職場環境・エルダー制・職員教育
	生産性の向上・整理と整備	職場環境・質の向上
	接遇改善	
	綱領、協議会・法人理念の理解	
長の視点 学習と成	様々なレベルでの職員教育	制度・技術・理念教育の徹底
	目標・課題等の情報共有	職場会議、ライン上の諸会議の重視
	業務管理制度の徹底	管理者教育の制度化と日常的判断

【わたしたちがめざすもの
の 日常業務的視点から
考えてみる】

『バランススコアカード (BSC)』という経営ツールを用いた目標管理 (左図)

地域の方々、利用者家族、職員の財産である私たちの法人・事業所を維持し、さらなる発展を進めることにより、地域の福祉ニーズに応え、職員の待遇改善を実現する。そのためには、経営の安定化が一番重要なポイント。

【2011年度 事業活動方針】

地域から期待される3つの視点を基本に、あらためて「地域で何が必要とされているのか」を明らかにするとともに、要求実現を目的に共同組織や住民組織などとともにあらゆる「知恵と力」を集めることが重要。

短期的な視点だけではなく、人事政策を含めた数年先を見越した中・長期的な計画・方針の早急な検討も課題。

非営利組織であっても、事業を維持・発展させていくためには利益が必要。借入金の返済や賃金労働条件の整備、不測の事態に備えるために最低でも5%の利益確保が決定的な条件。



1. 中・長期計画(2012年度～)策定に取り組む

○中・長期計画策定プロジェクトの立ち上げ(1年間)

○2015年・2025年を見据えた中・長期計画として具体的な実践課題(案)

- ・高齢者等の新しい「居宅」「住まい」づくり(ケアハウス、小規模特養、高齢者住宅)
- ・保育園での新たな施設づくり、やすらぎの郷の居住環境改善、認知症ケアの充実
- ・個別ニーズを重視したケアによる利用者増
- ・医療依存・重介護度のニーズに応えるケアの展開と介護職の医療行為問題
- ・医療法人・医療機関との一体的連携による事業展開、地区協議会への参加
- ・人材確保と研修・教育、後継者づくり、キャリアパスづくり
- ・障害があっても活躍する場の確保(障害者雇用の一層の受け入れ)
- ・「支援する会」のさらなる組織化と会員拡大、主催事業の検討
- ・賃金労働条件の整備
- ・安定した財務・経営基盤をめざすための経営長期計画の作成

2. 新たな地域・求められる地域での介護・保育事業の展開

○墨田区での高齢者の住まいづくり(関根邸)と他の地域(柳千・みさと等)での検討

○葛飾区・墨田区・足立区等の協議会が事業展開している地域での保育園運営の検討

○協議会としての一体的連携による事業展開

3. 法人機能・事業部機能の整備と法令遵守

○法人運営上のコンプライアンス整備・本部機能の整備

○日常的な整備による監査対策

○保育事業部のマネジメント機能の確立

4. 安心・安全な介護の提供と医療依存・重介護度のニーズに応えられる技術の向上

○介護事故・保育事故・交通事故のアクシデント対策(予防と対応)

○チームケアの充実による重介護度対応の実践

○介護職による医療行為の対応と対策

5. 社会保障拡充の運動と事業展開の両面からの取り組みを

2012年介護保険制度改定・地域包括ケアシステムが焦点 運動と事業の両面から

○改善提案の発信と介護保険の抜本改善を求める運動の主体者として

○地域包括ケアの積極的側面(住みなれた地域での展開)と重大な問題点(公費抑制)

○地域包括ケア構想を視野に入れた事業展開は、法人としての「総合力」が試される

6. 深刻な待機児童問題や「認定こども園」問題など公的責任の後退阻止の運動を

○「子ども・子育て新システム基本制度案要綱」は大きく保育を後退(2013年度実施予定)

○働く母親が急増し待機児童が増大、都や区への働きかけを旺盛に展開



7. 収支改善し、安定した財務・経営基盤の実現

○借入金返済や賃金労働条件の整備、不測の事態に備えるために最低でも5%の利益確保

○現金・預金残高を月商の0.7倍以上を目標に資金確保

8. 後継者養成と職員の確保・定着対策の強化

- 後継者養成 新たな世代・人材にバトンを渡す取り組み
- 2025 年介護職員必要数 212～255 万人（2007 年 140 万人）育成・確保は至上命題
- 離職を生まない定着対策（やりがい、教育研修、職場環境づくり、仲間づくり）
- 教育研修の充実



9. 10周年行事の成功

- 10 周年記念誌の発行
 - 10 周年記念行事の開催 当初は 5/22 を予定していたが、震災の影響で延期
- ＜すこやか福祉会常務理事 菊地 雅彦＞



3 月は震災の余震が続き緊張の連続、卒園式その他の最後の行事もことごとく中止や簡略化された毎日でした。4 月を迎え新しい生活に気持ちを一新させて、さあ元気にスタートです！

こばとの森保育園は 4 月から来年度の新しい保育形態（異年齢保育）に向けて、園舎の使用を大きく変えました。3～5 才児の幼児さんが同じフロアで遊び伝え学びながら、子ども同士で育ち合う保育をめざします。核家族・少子化が進み近隣との関係も希薄になる現代、保育園という場所を基点に子どもも大人も他者と繋がり、人間関係・コミュニケーションを深めて成長していけたらと思います。

金町浄水場の水汚染問題には、いち早く法人初め多くの方々からお気遣い・水の差し入れをいただき大変ありがとうございました。こばとの森が地域で大きなつながりの輪を築いていることを強く感じた出来事で

した。

待機児童の増加が社会問題化している昨今ではございますが、こばとの森では今年度、これまでにない『0 歳児クラス』の大幅定員割れを経験しています。もっともこばとの森の保育内容を伝え宣伝していく必要を感じます。

また見た目も少し汚れのたまってきた園舎の化粧直しを行い、狭くても暖かく気持ちの良い環境づくりを目標に日々清掃に励んでいます。日に日に楽しく美しくなっていく保育園を、是非お知らせに宣伝し見学にいらしてください！



最後に、こばとの森が力を入れている食育活動の一環として、「畑づくり」【上写真】を行っています。夏は毎日の食卓を飾るキュウリやトマト、冬は大根漬けと 1 年中大活躍の畑の野菜たち。今年も春一番の苗の植え付けを年長さんが行いました。品目は「生姜と里芋」、なかなか本格的でしょう！

＜稲尾 和子＞



ちよつと一枚
デイサービスセンターなごみ



ちよつと一枚
グループホームかねがふち



ちよつと一枚
グループホーム福さん家



所長のココロ ⑦



小規模多機能サービス
すこやかの家 業平
長谷川 浩司

8年半特別養護老人ホームやすらぎの郷に勤務し、昨年12月1日オープンしました「小規模多機能サービスすこやかの家 業平」へ異動してきました所長の長谷川です。

さて「小規模多機能サービス」というとなんだか難しそうな名前で「？」の方もいらっしゃると思いますがその名の通り“小さいけども様々なサービスを提供する”施設になります。ご家族や関係機関と連携をとりながら、その方の在宅での生活が継続できるように「通い」を中心に「訪問」や「宿泊」を組み合わせるサービスを提供します。

開設当時の利用登録は3名と少し寂しかったのですが、今は9名の方が登録されて段々賑やかになってきました。お昼ごはんは献立決めや買出しから食事作りまで利用者様が中心に行っています。

理事長からこの小規模多機能への異動のお話を頂いた時は、特養の慣れ親しんだ施設や仲間、利用者様から離れることにとても戸惑いましたが、今ではスイッチを切り替えやすらぎの経験を活かし早く墨田地域の一員になれるよう仲間とともに頑張っています。

スカイツリー見学に来られた際は是非遊びにいらしてください。

<左図写真>

長谷川さんは、協議会の「東日本大震災」被災地支援チームとして、宮城県塩釜市の坂病院の支援に3月27日～30日まで参加してきました。



寄付の御礼

社会福祉法人 すこやか福祉会

常日頃から当法人の社会福祉事業にご協力・ご支援に感謝申し上げます。この間、貴重なご寄付を多くの方々からいただきました。心からお礼申し上げます。

● すこやか福祉会 平成22年度寄付金収入総額 5,727,503 円

施設の充実に役立つよう、大切に活用させていただきます。高齢になっても、障がいがあっても、安心して住みなれた地域に住み続けることが可能になるよう、また「いつでもどこでも誰でも安心してサービスが受けること」ができる介護保障の実現のために、役職員一同、これからも奮闘していく所存です。

どうぞ今後とも、今までと変わらないご支援・ご協力を重ねてお願い申し上げます、お礼にかえさせていただきます。

介護スタッフ 大募集

<募集地域>

東京都足立区・葛飾区・墨田区・江東区・江戸川区
港区・埼玉県三郷市・八潮市、千葉県松戸市

<応募資格>ヘルパー2級以上

<勤務時間>ご相談ください

【給与】

<特養・グループホーム・デイサービス>

時給 1,060 円～

<訪問介護>

時給 1,500 円～



未経験者歓迎
研修制度あり

【応募方法】

応募先電話番号 03-5813-9251 採用担当 中村

【採用までの流れ】

まずはお電話にてご連絡ください。担当者より面接日をご連絡いたします。

※ お仕事に関するご相談・ご質問も喜んで承ります。

本部事務局 〒120-0023 東京都足立区千住曙町4-16

TEL 03-5813-9251 FAX 03-5813-9252

URL すこやか福祉会 <http://www.sukoyaka-fu.or.jp>

URL ファミリーケア <http://www.family-care.co.jp>